

## 今後の漂流・漂着ゴミ対策のあり方 (石川県羽咋市地域)

### ◎ 今後の石川県の取組

石川県では、安全で環境面や利用面にも配慮した、調和のとれた総合的な海岸保全のための基本計画を策定しており、その中において、海岸漂着ゴミへの対応として、

- ・ 「クリーン・ビーチいしかわ」等のボランティア活動の推進を図るとともに、地域の住民や団体、有識者、行政など海岸に関わる関係者が連携し、定期的な活動を実施していくことにより、ボランティア活動をさらに大きく育成していくよう努める
- ・ また、流域住民等に対し、ゴミを川に流さない運動と気運を高めるよう啓発に努めることとしています。

石川県羽咋市地域におけるモデル調査において、

- ・ 「クリーン・ビーチいしかわ」は、海岸清掃の活動組織としては先駆的であり、活動内容も充実していると、全県をあげた「クリーン・ビーチいしかわ」の長年にわたる活動を評価していただいております。今後も、引き続き積極的な活動が行われるよう、県としても市町とともに継続して支援に取り組んでいきたい。
- ・ 発生源においては、対岸諸国由来や船舶、漁業系のものが漂着しているものもあるが、河川に流入し、流下後、海岸へ漂着する生活ゴミなど陸起源の漂着ゴミが多いと推定されていることから、あらゆる機会を通じて、ゴミを適正に処理するよう県下全域の県民等に対する発生抑制への啓発活動の強化に取り組んでいきたい。
- ・ また、河川愛護の際、地域住民が刈り倒したヨシが豪雨時に河川に流出した事例が報告されているが、地域検討会において、県・市の河川管理担当、また、廃棄物処理担当の地域検討会委員が議論を行い、適正な管理方法等の必要性を共有したところであり、具体的な流出防止策に取り組んでいきたい。

### ◎ 今後の地域での取組

- ・ モデル調査に参加した回収作業員の意識調査から、参加することで住民等のゴミに対する意識改革となり、発生源抑制につながるようになる大きな意義や役割があるという。今後も継続して、クリーン・ビーチいしかわを中心とした海岸清掃活動に積極的に参加できる体制づくりに取り組んでいきたい。
- ・ 今回の調査により、地域住民や漁業者に加え、文化財関係者やサーファーによる清掃体制が新たに展開されることとなり、これらがより総合的に活動できるように取り組んでいきたい。
- ・ 海岸地域のみならず、地域全体でゴミのポイ捨てが防止されるよう啓発に取り組んでいきたい。

### ◎ 今後の課題

- ・ モデル調査で得られた技術的知見等を活用し、羽咋地域における漂流・漂着ゴミ対策の確立を図るためにも、国、県、市、民間団体、住民等関係者が協議を行い、役割分担を整理し、相互協力が可能な体制作りを推進していく必要がある。
- ・ また、羽咋モデルとして、他地域に対しても情報発信をおこない、適正で効率的な漂流・漂着ゴミ対策のあり方を県下全域に展開する必要がある。
- ・ 国の漂着ゴミ処理に対する補助制度の緩和や自治体への財政支援が必要である。
- ・ 外国由来の漂着ゴミは、地域レベルで対応することが困難であり、国は発生源対策や処理する自治体へ財政的支援を行う必要がある。

### ※ クリーン・ビーチいしかわ

地元ラジオ局が主体となり、平成7年度から海岸愛護運動としてスタート  
毎年、県内全域において10万人以上の県民がボランティアで活動に参加している。